

おでかけ・レジャー 農家民宿「荒牧家」

京都府/船井郡



photo

data

story

農家民宿、野菜販売、文章・チラシ講座を行っています。
農家民宿では自身で農作業を体験した後、畑で採れた新鮮な無農薬野菜を召し上がることが出来ます。
季節ごとに旬の野菜が違いため、四季を感じることが出来ます。
ぜひ体験してみたいかたでしょうか。

宿名 ▶ 農家民宿「荒牧家」

所在地 ▶ 〒622-0302
京都府船井郡京丹波町妙楽寺段ノ下29

TEL ▶ 0771-86-1755

photo



Close-up



Menu

メニュー/プラン	料金	内容
素泊まり 朝食付き	5,000円～ 8,000円～	
二食付き 布団不要の児童は無料	11,000円～ 児童割引いたします	

data

名称	農家民宿「荒牧家」
住所	〒622-0302 京都府船井郡京丹波町妙楽寺段ノ下29
アクセス	JR山陰本線「下山駅」下車 車で送迎あり(1度に6人まで)
電話	0771-86-1755
営業時間	チェックイン / 15:00～ チェックアウト / 11:00
定休日	年末年始、毎月第三週の土曜日、日曜日ほか(農作業を優先する場合があります)
メールアドレス	aramaki66@hotmail.co.jp
Facebook	https://www.facebook.com/kimiya.aramaki

オーナー紹介



名称	農家民宿「荒牧家」
役職	番頭
代表者	荒牧 公哉

起業のきっかけ! 荒牧 公哉さんの起業ストーリー

▶ 起業データ

前職	全国紙新聞社 記者業	開業年月	2014年7月	起業資金	借入: 非公開 自己資金: 500万円
----	---------------	------	---------	------	------------------------

Q. 独立・起業のきっかけはなんですか？

A. 東日本大震災がきっかけです。仙台の印刷工場が被災したため、東京から仙台に印刷した新聞を送らなければならなくなりました。最新の情報を掲載した新聞を印刷するために、情報が確定していない時間から東京で印刷しなければならない状況でした。インターネットがある昨今で、新聞が時代のスピードについていけないことを改めて実感し、それが退職のきっかけでした。母の実家が農業を行っていたのと、人と話すことが好きな点を組み合わせて、なにか出来ないか考えたときに、農家民宿という形態を考えました。

Q. 独立・起業するまでに苦労したことがあれば教えてください

A. 申請してから書類手続きを経て、合計1年ぐらいかかったので、書類整理や申請などが大変でした。保健所・消防署・警察署・地元の行政(京都府)にそれぞれ許可を得る必要がありました。また、改修費総額が約500万円かかりました。

Q. 今、やり甲斐を感じることや、この仕事をする醍醐味はありますか？

A. 海外、年代、性別問わず様々な人と出会えることです。泊まった人と会話・農作業等行うことでより絆が深まります。リピーターの方もいらっしゃり、民宿をきっかけに、人間関係を構築できることが今のやりがいです。また、京都府が移住招集活動を積極的に行っており、その希望者に対してのアドバイスやフォローを行っています。それをきっかけに、移住してくれる方がいるのも喜びの一つです。

Q. これからのビジョンについてお話しください

A. これからのビジョンは2つあります。1つ目は、親戚の家でかやぶきの古民家が2軒あり、そこを改築して、一棟丸ごと団体に貸すようなことを4~5年以内に行いたいと考えています。2つ目は、父の実家が福岡県で旅館を経営していますが、駅前にあるので、旅館ビジネスもこれから4年~5年で行っていきたくと考えています。

Q. これから起業を目指す人へ、メッセージをお願いします

A. お金のためにやるのではなく、自分が面白いと思ったことをやり続けるために10年耐えられるくらいの貯金があると、余裕を持って取り組めると思っています。自分の将来を見据えて長期的に考えてプランニングしていくことが大切です。人との繋がりを大切に、営利目的ではなく、信頼関係を築いていき、ビジネスに結びつけることが私のポリシーです。

サイトURL: <https://www.facebook.com/kimiya.aramaki>